



ジオだより



三陸ジオパーク推進協議会

アンバサダー後藤萌咲さんと三陸ジオパーク

①山田町で企画会議&現地視察



陸中山田駅の案内版で

三陸ジオパークアンバサダーの後藤萌咲さんが、昨年11月22日に三鉄ジオトトレインの企画会議に参加。“地域のまち歩き”企画を現地の皆さんと一緒に進めようということで、まず萌咲さんにも「まち歩き」を体験してもらいました。



鯨館の会議室にて集合

萌咲さんは震災の復興支援で何回か訪問していたという山田町ですが、当時イベントの出演以外の時間はほとんどなく、会場周辺以外にはどこにも行くことができなかったそう。今回の企画で、山田町の地域の皆さんと新たなまちの魅力を発見し、三陸ジオパークで「なるほど」なことの連続でした。



ガイドさんの解説に真剣

このジオトトレイン企画は山田町三陸ジオパークと共催です。

②大槌町で「ジオさんぽ」実施



大槌駅前に集合&出発

翌日(23日)は大槌町での「ジオさんぽ」駅の建物自体がひょうたん島の形になっていますが、2階に上がると湧水エリアや防潮堤と水門が良く見えます。大槌には駅から歩ける範囲にジオの話題がたくさんあります。



城山の露頭で付加体の説明にフムフム

萌咲さんが「当時のステージはここでした」と、その場所で再現してくれた姿がとても印象的でした。まちの様子が変わっていることに気づいてくれることも、地域の人にとっては何となくうれしいことに思えます。

③三鉄ジオトトレイン@山田船越半島

3月24日(日)に実施

受付開始は3月1日～
萌咲さんと一緒にGo!



◎鯨館のクリスマスイベントに ☆サプライズ登場☆

山田町の鯨と海の科学館では毎年、クリスマスイベントとして冬のナイトミュージアムを開催しているのですが、今回は会場に萌咲さんが登場!!



サンタの衣装でカワイイ!

夏にも恒例の同イベントは、地域の親子連れだけでなく、内陸からも来館者があるほどの定番だとか。三陸ジオパークのアンモナイトレプリカづくりも大好評でした。

三陸ジオパーク認定10周年イベント さんりくジオイベント @イオンタウン釜石

三陸ジオパークの魅力地域の方に発信

令和6年2月17日(土)・18日(日)

場所 イオンタウン釜石2階 11:00~16:00

三陸ジオパークエリアの
小学生が地域について調べた

大船渡市立博物館 出張!
ミニ展示・解説会

さんりくジオパークかわらばん
全作品展

約4.5~2.5億年前の
古代の海のいきもの
化石展
5億年前からつくづく岩手を知る!
おはなし会(博物館学芸員による)
① 11:30~ ② 13:30~
③ 15:00~ (両日とも)

展示期間: 2月10日(土)~2月18日(日)

アンモナイト&サメ
レプリカづくり

樹脂粘土による
アンモナイト&サメレプリカ
作り体験
体験料100円(材料費)

XRDoor
体験の実施

KDDI提供
au XR Doorで
三陸鉄道へ瞬間移動
スマホでひらく、心躍る
旅の扉

地域のマスコット
キャラクターと
写真をとろう!

さんりく体験
プログラムPRコーナー

三陸ジオパークガチャ

イベントに参加して
記念品をゲット!!

うつつが
来るよ!

主催 三陸ジオパーク推進協議会 岩手県宮古市五月町1-20 Tel: 0193-64-1230

協力 特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク、公益財団法人イオン環境財団、イオンタウン釜石、岩手県(沿岸広域振興局、東北広域振興局)、岩泉町、宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町、気仙沼市、岩手県立博物館、大船渡市立博物館、久慈琥珀博物館、三陸鉄道株、KDDI株、三陸DMOセンター、SASANO

昨年12月に再認定を受けた三陸ジオパークは、今年度10周年! イオンタウン釜石でジオパークのイベントを開催します。たくさんのご来場をお待ちしております!!

どうぞお出かけください⇒⇒



詳しくはこちら

三陸ジオパークシンポジウム ③ パネルディスカッション「三陸の地形の歴史・ 文化資源の磨き方～三陸ファンを作ろう」より

*前号に引き続き、8月6日に開催された「三陸ジオパークフェスタ」シンポジウムの様子をお伝えします。

海津ゆりえ先生の講演のあと、「三陸の地形の歴史・文化資源の磨き方～三陸ファンを作ろう」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。「三陸に人が来るにはどうしたらいいか?」「地域の人とその地域の多くの魅力に気づいていくには?」という問いかけから始まったディスカッションの席において、交わされたパネリストの御発言を要約し、連載中です。

基調講演/パネリスト

海津ゆりえ氏
文教大学

坂田雄平氏
NPO法人いわてアート
サポートセンター

伊藤実知子氏
三陸ジオパーク認定ガイド

長谷川晋氏
一般社団法人トレイルブレイズ
ハイキング研究所

金子太一氏
普代村商工会
青年部長

総括

弓削貴久氏
地球の歩き方総合研究所
事務局長

ファシリテーター

相澤久美氏
NPO法人
みちのくトレイルクラブ

ご登壇いただいた方々

パネリスト3 (有)カネシメ水産代表取締役社長 金子太一氏 (普代村商工会青年部長)

価値のないものや価値のあるものにさらに価値をつけようという高付加価値化を進めているが、地域に眠っている宝物を発掘しながら他の市町村の事業者と協力して長所を活かしあい商品開発をしている。三陸に来た方には生産者の方とふれあって、ストーリーを聞いて見て体感してもらおうと忘れないと思うし、それが付加価値になって行くものと思う。



地元の人が当たり前食べているものが「とてもおいしい」と言われ気づかされるので、よそから来た人の意見はとても大切。そして一番大事なのほうをつかかない、正直に熱意をもって伝えることだと思う。周りが一緒に幸せじゃないと結局自分も幸せではない。みんなで一緒に幸せにならないと地域も良くなれないと感じている。

パネリスト4 (一社)トレイルブレイズ ハイキング研究所 長谷川晋氏

軽い荷物で自然に親しみながら歩く方法を広めたいと日本で「長く歩くことの可能性」を追求している。全国に広がる長距離自然歩道の利活用を推進する活動をしているが、みちのく潮風トレイルを全線開通前から調査を兼ねて全線を歩いた。長く一続きになっているからこそ、その地形、地理、人の営みというものがすべてつながっていると実感した。

みちのく潮風トレイルの魅力に心惹かれ、アドバイザーとして現在も関わっているが、歩くのが一番知ることにつながる。魅力のないところなどない。何もないならばこれだけモノがあふれている世の中で、その「なさ」がすごかったりする。浜ごとにみんなちょっとずつ文化が異なる。三陸地域は「人が自然と共に生きること」というものがそのまま残っているような気がして、すごく感動しながら歩いた。出会った人たちが住んでいる地域は、自分がそこに住んでいなくても地元の人間という気持ちでいるので、すぐに行きたくなる。これからも一緒に歩んでいきたい。



*パネルディスカッションよりパネリストからのご発言は次号に続きます

岩手県立博物館で開催中 「ポケモン化石博物館」



12月19日(火)から始まった「ポケモン化石博物館」では、ポケモン世界の化石の展示とあわせて岩手県内で発見された化石も展示されています。実物大のカセキポケモンたちや骨格想像模型もあり、子供たちはもちろんのこと、大人も十分楽しめます。私たちの世界とポケモン世界の違いが子供たちにもわかりやすく表示され、来館者を古生物学の世界に誘います。三陸のアンモナイトの紹介や琥珀の展示もあります。

「みやこのジオさんぽ」楽しかったね♪

フォトロゲイニング大会前日企画として、10月14日（土）に実施しました

前号ではフォトロゲイニング大会の様をお伝えしましたが、その前日に行った地域のまち歩きツアー「宮古のジオさんぽ」をレポートします。

「ジオさんぽ」は、認定ジオガイドさんと歩きながら地域の歴史や文化をたずねる、いわば“宝さがし”のようなものです。「いつも通っている道に、こんな場所があって、こんな謂れがあるなんて知らなかった、気づかなかった。」参加者の方からほぼ同じ感想です。特に車での移動が当たり前の生活をしていると、歩いてみて初めて分かることがたくさんありますね。身近なあたりまえの景色が変わって見えてくる。それが「ジオさんぽ」の面白いところです。



宮古コースで立ち止まった「よく通る場所」



三鉄の新田老駅ホームでも話題はたくさん

今回は、宮古市内を歩いて回る「みやこのまちあるき」と三鉄に乗って田老のまちをめぐる「ブラタロウ」の2コースを企画。翌日のフォトゲ大会に参加しても味わえない場所と内容を用意しました。

当日は秋晴れの晴天のもと、それぞれのコースに分かれてスタート。3時間ほどの「ジオさんぽ」を楽しみました。



念願の？竹輪焼き体験 手作り竹輪 美味！



田老コースでは、鉱山の歴史を訪ねました

宮古のまちも、震災時の津波災害の痕跡を数多く残していますが、台風の災害にも見舞われていたそうです。旧市役所跡地にできた「うみどり公園」では、土曜日で多くの子供たちが遊んでいました。丸徳さんの竹輪づくりは、企画してから2回も中止を余儀なくされ、なんと3年越しで実現したもので、感動的でもありました。帰り道で見た宮古大橋からの夕暮れに差し掛かる景色は、“歩き”ならではのもの。しばし立ち止まり、別れを惜しむようにゆっくりと橋を渡ってきました。

「もーりい の さんりくジオ話」 三陸ジオパーク専門員の盛合秀がお届けします

先日、家族と平泉町の中尊寺に行ってお参りました。今年は中尊寺金色堂の建立900周年の年で、東京国立博物館では特別展が開催されるなど、世界遺産「平泉」に注目が集まる年になりそうです。御朱印マニアの皆様は、限定御朱印も頒布されておりますので、是非行ってみてください。



ここで、なぜ中尊寺金色堂を話題にしたかと言いますと、実は三陸と平泉には深い関わりがあるからです。気仙地方には、玉山金山などの金山が存在し、そこで産出された金は中尊寺金色堂の建立に使われるなど、奥州藤原氏の黄金文化を支えていたとも言われております。そうした背景を踏まえて見に行くと、見方も感じ方も変わってくるかもしれませんね。

《岩手県地域おこし協力隊 大河原秀祐さん 着任のごあいさつ》



宮城県出身の大河原さん

おおかわら しゅうすけ

三陸ジオパーク推進協議会に1月より着任いたしました大河原秀祐です。専門員として、地質遺産の紹介や保全等の業務に勤めてまいります。

前職では、民間の地質コンサルタントの技術職として地質調査を担当し、宮古市と岩泉町の山地の風力発電事業にもかかわった経験もあります。その頃より、三陸の地質や自然環境に興味を抱くようになり、ジオパークに関わりたと思いました。

地球科学は、地質や岩石、化石、その背景にある気象、自然災害、環境変動等を網羅した分野になります。三陸ジオパークの地質遺産は、過去5億年の間に起きたプレートの移動や火山活動、環境変動の変遷を記録したものが広範囲に分布し、津波災害や生物の大量絶滅を記録する重要なものも見られます。

長期間の地質記録を有する三陸ジオパークにおいて、環境変動や古生物、生命進化を主に取り上げていこうと考えております。現在の地球環境や生態系を理解し、保全を考える上でも、環境の変遷とそれに伴う進化の歴史は重要な手掛かりとなります。

また、地震や津波が発生しやすい場所だからこそ三陸を含めた日本列島が成立したことも伝えていきたいです。自然災害が身近であるからこそ、訪れる人が災害を知り、備える意識を持つきっかけにつなげてあげたいと思います。

加えて、早池峰山と、そこに分布する固有種も含めた植物群落にも着目し、北上山地の発達と同時に生態系の紹介にも力を入れ、生物学的視点も含めたジオパークとしてアピールしたいです。

ジオパーク職員としてまだまだ勉強不足な点もありますが、訪れる人に地球科学や生物学を分かりやすく伝え、興味を抱かすことができるような専門員を目指してまいります。

《「翼竜の玉子」を食べて、太古の時代に思いを馳せる》

今回ご紹介するジオスイーツは、かめめの玉子でおなじみ、さいとう製菓(株)さんの「翼竜の玉子」です。

ホワイトチョコでコーティングされたかめめの玉子とは違い、この「翼竜の玉子」は、ココア味のカステラ生地でチョコクリームと餡を包んでいます。ゴツゴツとした見た目が、翼竜のたまごの化石を想起させます。パッケージには、三陸ジオパーク&JGN&みちのく潮風トレイルのロゴマークシールがあり、特別感がありますね。

三陸ジオパーク内では、岩泉町で日本初の恐竜（モシリリュウ）の化石が発見されたほか、久慈市では恐竜（ティラノサウルス）をはじめ、ワニ類やカメ類、サメ類など20種類に及ぶ脊椎動物の化石が発見されています。

「翼竜の玉子」は、三陸ジオパーク内で発見された化石になった生物や、現代のカモメのように大空を羽ばたいていた翼竜が活躍していた頃の、ダイナミックに躍動する時代に思いを馳せることができるお菓子です！



しっとりとしたチョコの風味が、口いっぱいに広がります。

編集後記：令和6年が始まり、すでに2月・・・<一月は行って、二月は逃げて、三月は去って>という話、聞いたことありますか？ きっとこの調子だとすぐに3月になるのかなと思う今日この頃。イオンタウン釜石でのイベント準備もたけなわになってきました。情報によると三陸ジオパークガチャの賞品は、協力市町のセレクト品とか。何が当たるかとても楽しみです！ それに今回の特別企画の化石展は解説会がおすすすめ！ 開始時間に合わせてご来場ください。そして盛岡の岩手県立博物館で開催中のポケモン化石博物館（要予約）は、3月3日までです。こちらにも是非☆ ~と~

三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072

岩手県宮古市五月町1-20

(宮古地区合同庁舎2階)

TEL:0193-64-1230

FAX:0193-64-1234

info@sanriku-geo.com

https://sanriku-geo.com/



Facebookはこちら